

平成20年3月期 決算概要

小野薬品工業株式会社
取締役副社長 相良 暁

 小野薬品工業株式会社

売上高 1,458億円 (前期比3.0%アップ)

販売状況

	19年度	18年度	増減率
オパルモン錠	373億円	338億円	10.4%
オノンカプセル	271億円	268億円	0.8%
キネダック	174億円	173億円	0.4%
オノアクト	19億円	9億円	
オンドライシロップ	110億円	114億円	▲4.1%
ステーブラ	5億円		

営業利益 522億円 (前期比 1.0%ダウン)

(前期比)

・売上原価	208億円 (▲1.1%)
・販売費及び一般管理費	727億円 (7.3%)

・研究開発費	389億円 (10.2%)
--------	---------------

治験委託費用の増加
研究所での実験費用の増加
ステーブラ錠の承認に伴う一時金の支払いなど

・その他の販売費及び一般管理費	337億円 (4.1%)
-----------------	--------------

営業費用の増加など

経常利益 551億円 (前期比 2.6%ダウン)

営業外収支

28億円 (前期比 9億円減)

営業外収益 : 34億円
営業外費用 : 5億円

(営業利益 : 前期比 5億円減)

当期純利益350億円 (前期比 0.6%ダウン)

特別損益 44億円の利益

特別利益:60億円 (前期比9億円増)

特別損失:16億円 (前期比15億円増)

(参考) 前期の特別損益(50億円の利益)

税負担 19億円減少

前期の繰延税金資産取崩の影響がなくなる

平成21年3月期 業績予想

売上高 1,430億円 (前期比 2.0%ダウン)

オパルモン錠、ステーブラ錠、注射用オノアクト
を中心とした売上拡大を図る。

薬価基準の引き下げ(5%台半ば)や後発品の
影響を受ける。

営業利益 461億円 (前期比 11.8%ダウン)

		(前期比)
・売上原価	214億円	(2.6%)
・販売費及び一般管理費	755億円	(3.8%)
・研究開発費	416億円	(6.7%)
・その他の販売費及び一般管理費	339億円	(0.4%)

経常利益 491億円 (前期比 10.9%ダウン)

営業外収支 30億円程度

当期純利益 321億円 (前期比 8.4%ダウン)

特別損益 25億円

投資有価証券売却益25億円を計上

(参考) 前期の特別損益(44億円の利益)